

## 【議題①】 令和2年度地方創生交付金活用事業の検証について

島根県の地域再生計画に掲載されたことで地方創生交付金を活用した事業です。令和2年度は2件の地域再生計画により6事業を実施しました。こちらの計画は、県計画（『しまねに定着、回帰・流入するひとの流れづくりプロジェクト』、『高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト』）であるため、益田市の総合戦略（第1期）の目標が設定されていない事業もございますが、審議会での検証をお願いいたしております。

益田市の総合戦略における設定項目がある事業については、これまでと同様の事業シートを作成しておりますので、こちらをお読み取りいただき、ご意見等をいただければと存じます。

益田市の総合戦略における設定項目がない事業については、同様の事業シートを作成しておりますが、事業概要のご紹介のみとなります。今後の検証に向けたご意見やご質問等がございましたら、お寄せいただければと存じます。

## 【議題①事業概略】

### 1-1. 『しまねに定着、回帰・流入するひとの流れづくりプロジェクト』

(島根県地域再生計画)

#### 1-1-1. 「ひきみ田舎体験推進事業」(連携のまちづくり推進課)

設定項目「県外の若者が益田市で交流活動した延べ人数」

・ 匹見の魅力を市内外にPRし、様々な田舎体験事業を実施することで、交流人口の拡大や関係人口の掘り起こし、更には、将来的なUIターンへのきっかけづくりに繋げる。

#### 1-1-2. 「ますだ暮らし推進事業」(連携のまちづくり推進課)

設定項目「都市部での定住イベント」

・ ますだ暮らし希望者に対する、受入れから定住後のフォローまでの一貫したサポート体制の構築により、UIターン者の増加及びその後の定着を促す。定住窓口の一本化及び庁内関係各課及び庁外関係各所との連携体制を構築し、定住に関する様々な情報の収集と発信を総合的に行う。

設定項目「UIターン者サポート宣言企業登録数」

設定項目「UIターン者サポート宣言企業へのUIターン就職者数」

・ 就業機会の拡充、職場定着への支援等、企業側が取り組むUIターン者や若者に対するサポート体制の整備を促進し、UIターン者や若者の定着を図り、もって人口拡大に資する。

設定項目「ますだ暮らしサポーターの登録者数」

・ UIターン者が安心して暮らせるよう、暮らしに必要な情報提供、地域内の案内や相談等の支援を行う体制を構築することにより、UIターン者の定着を図り、もって人口拡大に資する。

#### 1-1-3. 「地域づくり支援体制整備事業」(連携のまちづくり推進課)

設定項目なし

・ 持続可能な地域づくりを目指す団体に業務委託をし、地域づくりの担い手を育成することを目的とする。

## 【議題①事業概略】

### 1－2. 『高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト』

(島根県地域再生計画)

#### 1－2－1. 「未来の担い手育成事業費」 (協働のひとづくり推進課)

設定項目「拠点づくりに取り組む地区数」

・学校を核(拠点)とした、子どもの育ちを地域で支える体制の確立により、子育て世代のUIターン促進や、放課後又は長期休業時の子どもの安心安全な学びの場の充実を目指すとともに、多くの住民が学校を活用することで、幼児から高齢者まで、幅広い層の住民が日常的に集う拠点となることを目的とし、地域の魅力づくりと個性を伸ばす教育環境づくりを進め、公民館と連携した社会教育活動を推進する。

#### 1－2－2. 「ひとづくり推進事業費」 (協働のひとづくり推進課)

設定項目「キャリア教育(夢の教室、新職場体験、益田版カタリ場)に取り組む学校数」

「未来を担うひとづくり計画」に則り、「対話」の手法を用いたライフキャリア教育を実施することで、多様な価値観を有する「ますだのひと(大人)」と子どもたちの出会う場を創出し、子どもたちの生きる力を醸成することを目的とする。

#### 1－2－3. 「公民館管理・拠点化推進事業費」 (協働のひとづくり推進課)

設定項目なし

地域づくり・ひとづくりの拠点である公民館の運営及び維持管理。

## 【議題②】 令和2年度企業版ふるさと納税活用事業の検証について

益田市で独自に地域再生計画を作成し企業版ふるさと納税を活用した事業です。令和2年度は2件の地域再生計画により4事業を実施しました。こちらの計画は、企業版ふるさと納税ごとに作成しており、独自の事業概要説明書を作成しておりますので、取組内容と成果についてお読み取りいただき、今後の事業展開へのご意見等をいただければと存じます。

1件目のふるさと納税は『ひとづくりを軸とした持続可能な地域プロジェクト』という地域再生計画に対応しており、「ますだ暮らし定着支援事業」、「ひとづくり推進事業」、「小規模校合同学習実施事業」の3事業を実施しました。

2件目のふるさと納税は『自転車を活かしたまちづくりプロジェクト』という地域再生計画に対応しており、「サイクリストおもてなし事業」の1事業を実施しました。

## 【議題②事業概略】 2-1 『ひとづくりを軸とした持続可能な地域プロジェクト』

### 2-1-1 「ますだ暮らし定着支援事業」 (連携のまちづくり推進課)

#### ○ますだ暮らし定着支援事業助成金の交付

安定したますだ暮らしの実現及び益田市への定着を図るため、益田市内で新規就業したUIターン者及び新規学卒者に対して助成金を交付した。

### 2-1-2 「ひとづくり推進事業」 (協働のひとづくり推進課)

#### ○益田版カタリ場

中高生と大人による原則1対1の対話を通して、「これまでの人生と、これからどうありたいか」自分自身の生き方について考えることで、自分の「心に火を灯す」授業を実施した。

#### ○高校生期のライフキャリア教育 (教育魅力化コーディネーター)

高校生の学校外での活動づくりや、高校と地域・企業・行政をつなぐコーディネーターを配置し、取組を行った。

#### ○JAFこころのプロジェクト夢の教室

日本サッカー協会に所属する元アスリートや現役アスリートが自分の夢を実現するためにどんな事をしたか、また挫折や悩んだ時にどのようにその苦勞を乗り越えたかをオンラインを通じて小学生に伝えた。

#### ○関係人口の創出 (私立高等学校魅力化補助金)

益田市の私立高校には、約250名の県外生が在籍している。特にこの県外生を対象とした地域活動を実施することで、卒業後も第2のふるさととして益田市と関わり続ける人材 (関係人口) の確保へつなげた。具体的には「食」をテーマとしたコンテンツづくりや交流の場の創出を行った。

### 2-1-3 「小規模校合同学習実施事業」 (学校教育課)

#### ○小規模校4校合同宿泊研修

市内4校の小規模校の5・6年生が、県立少年自然の家で2泊3日の宿泊研修を実施した。

#### ○小規模校オンライン交流

小規模校6校で、オンラインを活用して、交流学习や授業を実施した。

【議題②事業概略】 2－2 『自転車を活かしたまちづくりプロジェクト』

2－2－1 「サイクリストおもてなし事業」（観光交流課）

○道路への案内サインの設置（100ZEROコース）

国内外から益田市に走りに来たサイクリストの方が迷うことなくコースを走ることができるよう案内サインを設置した。

○サイクルスタンドの設置

高津川流域材を使用した木製サイクルスタンドと鉄製サイクルスタンドを製作し、益田市サイクリストサポート企業（市内郵便局等）に設置した。